

第 17 回災害廃棄物対策中国ブロック協議会 議事録

日 時：令和 4 年 3 月 3 日（木）13 時 30 分～15 時 30 分

場 所：オンライン開催

議 事：

- （１）「中国ブロック災害廃棄物対策行動計画（広域連携計画）」改定について
- （２）令和 3 年度の協議会調査検討事項の報告
- （３）令和 3 年度災害廃棄物処理対策セミナーの報告
- （４）次年度以降の中国ブロック協議会での取組に係る課題について

1 開会

環境省中国四国地方環境事務所 上田所長より開会の挨拶が行われた。

2 あいさつ

（環境省 中国四国地方環境事務所 上田所長）

全国各地における災害対応の経験を踏まえ、平成 30 年 3 月に中国ブロック災害廃棄物対策行動計画の策定を行った。その後、平成 30 年 7 月豪雨をはじめ、毎年のように大規模な災害が発生している。災害に対する新たな課題に対処し、自治体と連携をとりながら、災害に対する備えをバージョンアップしている状況にある。こうした近年の災害における経験の蓄積を踏まえ、昨年度より、本協議会において中国ブロック行動計画の見直しに向けた調査検討を進めてきた。

本日は過去の協議会、幹事会等での議論を踏まえた行動計画改定案、そして、来年度以降の取組にかかる課題等についてお示ししたい。

毎年様々な災害が発生しており、その様態は一致しないことが多く、災害対策において完璧な答えを示すことは難しいが、これまでの検討の節目として審議いただければと思う。限られた時間ではあるが、是非忌憚のない意見をいただき、災害への備えの更なる強化に繋げて参りたい。

（事務局 応用地質）

議事に入る前に配布資料の確認をさせていただく。

（資料確認・省略）

本協議会においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン会議システムを通じて参加していただいている。進行上トラブルが発生する可能性があるが、何卒ご理解、ご協力をお願いしたい。

（オンライン参加者へのお願い事項・省略）

それでは、議事に移る。ここからの進行は、座長にお願いする。

3 議 事

(座長)

それでは、議事の「(1)「中国ブロック災害廃棄物対策行動計画（広域連携計画）」改定について」の説明を事務局から願います。

(1)「中国ブロック災害廃棄物対策行動計画（広域連携計画）」改定について

議事の「(1)「中国ブロック災害廃棄物対策行動計画（広域連携計画）」改定について」について、事務局より資料1・2の説明が行われた。説明ののち、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 応用地質)

(資料1・2説明・省略)

(座長)

事務局から説明をいただいた。「本編」に対してご質問等があれば願います。

<質疑応答> 特になし

(座長)

次に「資料編」に対してご質問等があれば願います。

(副座長)

資料2，資料編の目次のタイトルについて、「6.参考資料」「6.(9)参考事例」となっているため、どういった参考資料なのか目次から分かるようなタイトルにした方が良くと思われる。

(事務局 環境省)

具体的な説明書きを補足し、分かりやすくなるよう修正する。

(委員)

資料2，資料編に「国立環境研究所 災害廃棄物情報プラットフォーム」について記載いただいたが、現在プラットフォームのリニューアルに向けて作業しているところである。また、災害廃棄物処理について分かりやすいように工夫した動画等あるので、今後の動向等についても注目いただければと思う。

(事務局 環境省)

参考資料に載っている情報について、随時更新されていく部分もあるかと思う。今年度の最終とりまとめまでに更新できる部分は更新を検討したい。改定後についても、情報更新すべきものについては柔軟に対応して参りたい。

(座長)

ブロック行動計画の改定案について、いただいた意見等を踏まえ、事務局にて整理いただければと思う。最終的な確認等については、座長と事務局で進めていくということが良いか。

<異議なし>

(2) 令和3年度の協議会調査検討事項の報告

議事の「(2) 令和3年度の協議会調査検討事項の報告」について、事務局より資料3の説明が行われた。説明ののち、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 応用地質)

(資料3説明・省略)

(座長)

事務局から説明をいただいた。これに対してご意見・ご質問等があれば願います。

(座長)

資料3、10 ページ目の「人材育成の取組に係るヒアリング調査結果概要」に「平成30年度以降の災害で得られた知見を継承するため、未経験者の査定の同席等、OJTによる研修を行っている。」とあるが、未経験者の査定の同席とはどのような意味か。

(事務局 応用地質)

被災市町村が環境省に災害査定を受ける際、県職員が同席している。県職員の中で査定の経験がない職員についてもそのような場に同席し、災害査定についての知識を深めるようにしているとのことであった。

(広島県)

「工夫している点」の補足として、訓練実施後、市町に対してアンケートをとっており、それらの意見をもとに来年度の訓練を計画している。

(委員)

資料 3, 11 ページ目の「第 5 災害廃棄物対策中国ブロック協議会における訓練」について、課題に「オンライン会議における音声の不都合・通信状況など、トラブル」とある。今回の訓練はオンライン開催というのが新しい点だと思うが、訓練の内容について報告書への記載はないのか。

(事務局 環境省)

参考資料 3 に訓練の結果概要を掲載しており、課題や行動計画への反映事項を整理している。報告書には図上訓練の内容について分かりやすくとりまとめる。

(委員)

オンラインで訓練を実施したが、実際に災害が発生した場合、各自治体で webex を使用することができるのか、機材の確保はできるのか等が懸念される。

(事務局 環境省)

平時の訓練と、災害が発生した緊急時において、どのシステムが使用できるか整理する必要がある。中国ブロックの訓練では、初めてオンライン会議システムを使用したことから、訓練参加者にとって経験になったと考えている。ご指摘のとおり、資機材の準備や通信環境について課題が出てくると思う。引き続き、自治体のオンライン会議システムの状況を踏まえながら、より良い情報共有の環境にしていくため、オンライン会議だけでなく、電話・メール等の複数の情報手段をどう組み合わせしていくか検討したい。

(委員)

災害が発生した際にチェックシート等を使って、機材の管理や担当者等をチェックできるような備えを平時から検討しておくことが重要と思われる。

(委員)

資料 3, 3 ページ目の図表 1 「一般廃棄物処理施設アンケートで回答のあった事例における災害廃棄物の組成別受入量」の中の「資源化等を行う施設 13 事例」のうち、「コンクリートがら」について、コンクリートがらの資源化の事例について教えていただきたい。

また、10 ページ目の「4. 今後の協議会における検討課題について (案)」より、市町村を対象とした研修等の実施を促す取組について、今後どのように実施する予定か教えていただきたい。

(事務局 応用地質)

コンクリートがらの資源化の事例については、確認させていただきたい。

(事務局 環境省)

人材育成に係る調査を行っている中で、環境本省や他の地方環境事務所の取組等について情報収集を行っている。本調査は、次年度以降も必要に応じて調査対象を広げることも含めて検討していきたい。

(座長)

東日本大震災の後、電力がひっ迫した中、一般廃棄物焼却施設で電力供給等の貢献ができるかアンケートを取ったことがあった。直接、災害廃棄物を受入れるというわけではないが、二次的な影響の中で、一般廃棄物焼却施設が貢献できることについての調査であった。次年度以降の調査で、このような二次的な影響を入れ込んでも良いのではないかと考えている。

(3) 令和3年度災害廃棄物処理対策セミナーの報告

議事の「(3) 令和3年度災害廃棄物処理対策セミナーの報告」について、事務局より資料4の説明が行われた。説明ののち、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 応用地質)

(資料4説明・省略)

(座長)

事務局から説明をいただいた。これに対してご意見・ご質問等があればお願いする。

<質疑応答> 特になし

(4) 次年度以降の中国ブロック協議会での取組に係る課題について

議事の「(4) 次年度以降の中国ブロック協議会での取組に係る課題について」について、事務局より資料5の説明が行われた。説明ののち、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 応用地質)

(資料5説明・省略)

(座長)

事務局から説明をいただいた。これに対してご意見・ご質問等があればお願いする。

(座長)

資料5「4. 他ブロック等との連携に係る調査検討」について、現時点においても他ブロックとの連携について記述があるが、より具体的にするという趣旨か。

(事務局 環境省)

資料2, 2ページ目と21ページ目の「3. 地域ブロックをまたぐ連携」に他ブロックとの連携に関する記載があり、隣接する他ブロックとの相互連携のあり方について検討を進めていくとしている。

今回改定される行動計画の中には、検討課題として上げている部分があり、具体的な部分について、改定した行動計画の共有も含め、検討していく必要があると考えている。

(副座長)

資料5「1. 改定後のブロック行動計画の周知」について、次年度に県単位での説明会を行うのは重要であると思う。ただの説明会で終わらせるのではなく、各県の地域的な課題や、強化すべき取組を取り入れて、災害廃棄物対応に対する全般的な対応力強化につながるような説明会にしていいただければと思う。

「2. 廃棄物処理施設に関する調査検討」について、調査内容が共有され、災害時にこれらの調査内容が活かせるようになることが大事であると思う。また、特徴的な取組をしている等、良い事例があれば紹介し、取組を促していければと思う。

(事務局 環境省)

行動計画の周知に向けた説明会等について、各自治体でどのような取組があるのかも含め、各県とよく相談しながら調整したい。

廃棄物処理施設に関する調査検討について、次年度以降、データの活用方法も含めて検討していきたい。

(委員)

行動計画の周知について、市町村にそれぞれの役割を認識していただくことが重要であると思う。特に初動の動きについて、具体的に説明していただきたい。「応援要請リスト」の使い方、必要な事前準備等、説明していただけると実効性の向上に繋がると期待している。

「4. 他ブロック等との連携に係る調査検討」について、広域輸送範囲は近畿ブロック・九州ブロックを想定されているのか教えていただきたい。

(事務局 環境省)

説明会において、各役割や初動対応が分かるよう、資料作成に取り組みたい。

広域輸送については現行の行動計画の中にも記載がある。中国ブロックの近隣である、四国・近畿・九州ブロックを視野に入れて検討を進めていきたい。

(座長)

本日いただいた意見を踏まえて、事務局にて本年度の最終的な報告書を作成していくことになる。最終的な確認などについては、座長と事務局で進めていくということで良いか。

<異議なし>

4 閉会

(事務局 応用地質)

以上、第17回災害廃棄物対策中国ブロック協議会を閉会する。

本日は長時間どうもありがとうございました。

以上